

## 2015 年農林業センサス結果の概要（概数値）

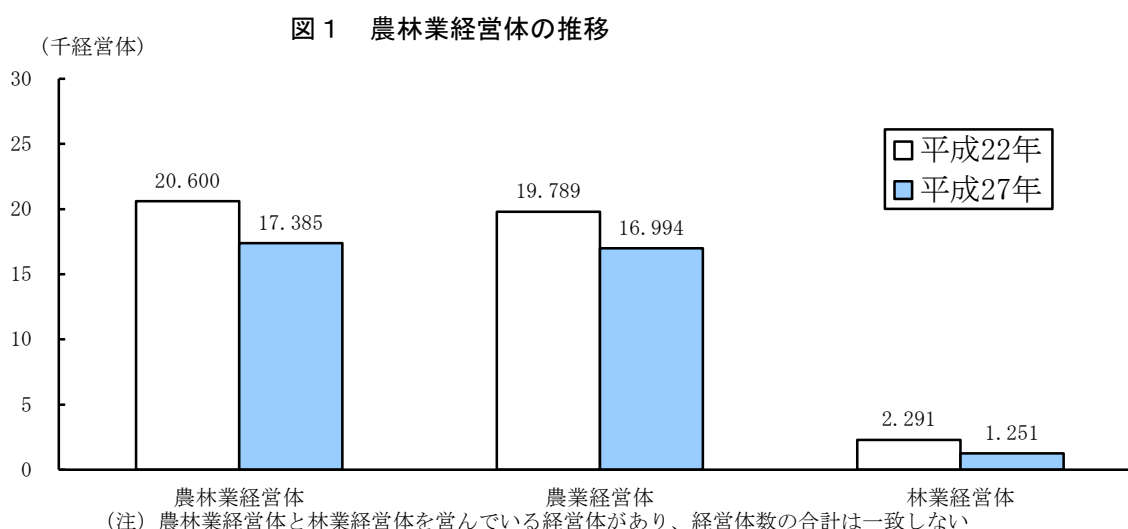
農林業経営体調査（佐賀県）平成27年2月1日現在  
—農業経営体は減少する中、法人化や経営規模の拡大が進展—

### 1 農林業経営体

～農林業経営体は17,385経営体に 3,215経営体（15.6%）の減小～

平成27年2月1日現在の農林業経営体数は17,385経営体で5年前に比べ3,215経営体（15.6%）減少した。

このうち、農業経営体数は16,994経営体で2,795経営体（14.1%）、林業経営体は1,251経営体で1,040経営体（45.4%）、5年前に比べそれぞれ減少した。



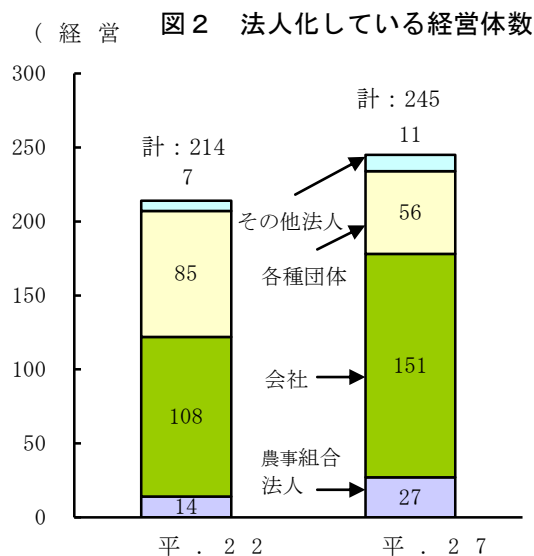
### 2 農業経営体

#### (1) 組織形態別経営体数

～法人化している経営体は245経営体に 31経営体（14.5%）の増加～

農業経営体16,994経営体のうち、法人化している経営体は245経営体で、5年前に比べ31経営体（14.5%）増加した。

このうち、農業組合法人は27経営体、会社は151経営体、その他法人は11経営体となり、5年前に比べ、それぞれ13経営体（92.9%）、43経営体（39.8%）4経営体（57.1%）増加したが、各種団体は56経営体で29経営体（34.1%）減少した。



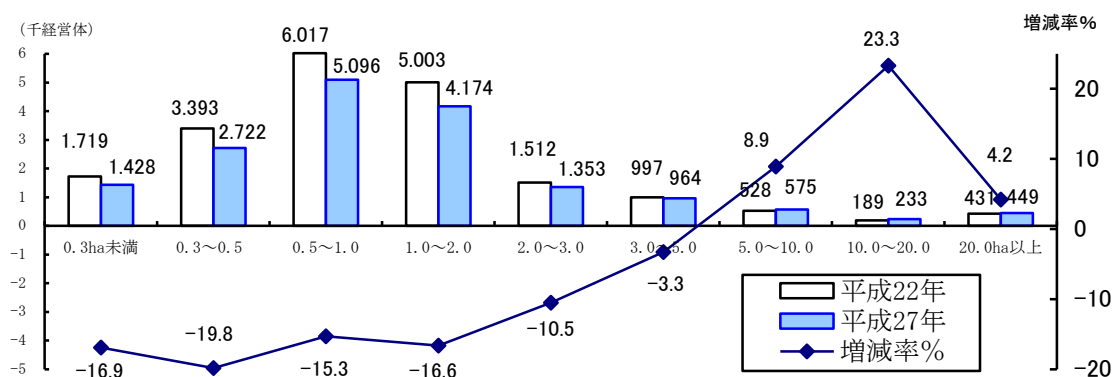
## (2) 経営耕地面積規模別経営体数

～5 ha 未満の農業経営体は減少。5 ha 以上の大規模な農業経営体が増加～

増減率では、10.0ha～20.0ha 層の増加率が最も大きく 23.3%、0.3ha～0.5ha 層の減少率が最も大きく△19.8%となっている。

また、経営体数が最も多いのは、0.5ha～1.0ha 層の 5,096 経営体（構成比 30%）となっている。

図3 経営耕地面積規模別農業経営体の推移



※0.3ha 未満には経営耕地なしを含む

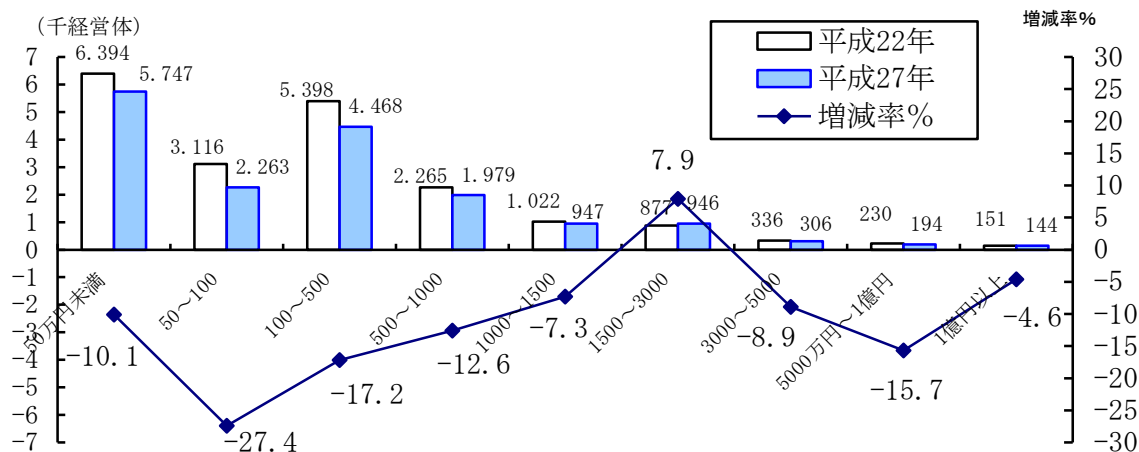
## (3) 農産物販売金額規模別経営体数

～販売金額規模 500 万円未満が全体の 73.4%～

農業経営体を農産物販売金額規模別の構成比からみると、50 万円未満層が 5,747 経営体（構成比 33.8%）で最も高く、次いで 100～500 万円層が 4,468 経営体（同 26.3%）、50～100 万円層は 2,263 経営体（同 13.3%）の順となっており、この上位 3 層で全体の 73.4%を占めている。

なお、1,500～3,000 万円層を除く全ての層で、5 年前と比較すると経営体数が減少しており、最も減少率の大きいのは 50～100 万円層（△27.4%）である

図4 農産物販売金額規模別経営体数



※50 万円未満には農産物の販売なしを含む

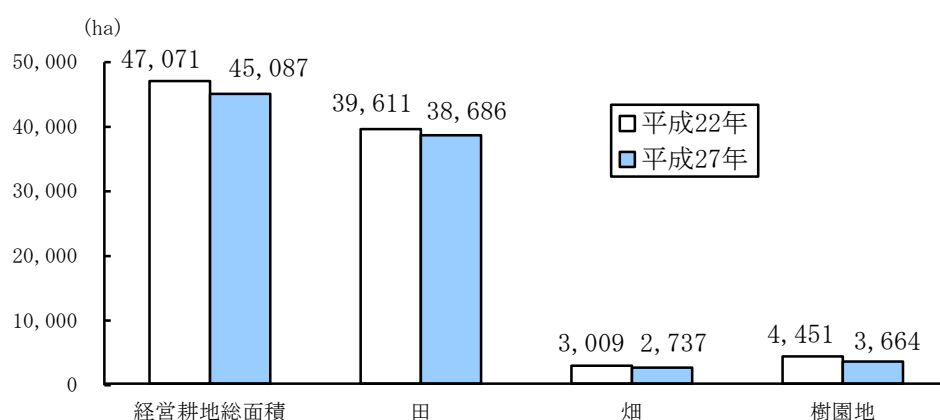
#### (4) 耕地種類別経営耕地面積

～農業経営体の経営耕地総面積は 45,087ha に、1,984ha (4.2%) の減少。田の面積は総面積の 85.8%～

農業経営体の経営耕地総面積は 45,087ha で 5 年前に比べ 1,984ha(4.2%)減少した。耕地種類別にみると、田が 38,686ha で (△2.3%)、畑が 2,737ha で (△9.0%)、樹園地は 3,664ha (△17.7%) となっている。

なお、経営耕地面積の構成比は田が 85.8%、畑が 6.1%、樹園地が 8.1%となっている。

図5 耕地種類別経営耕地面積

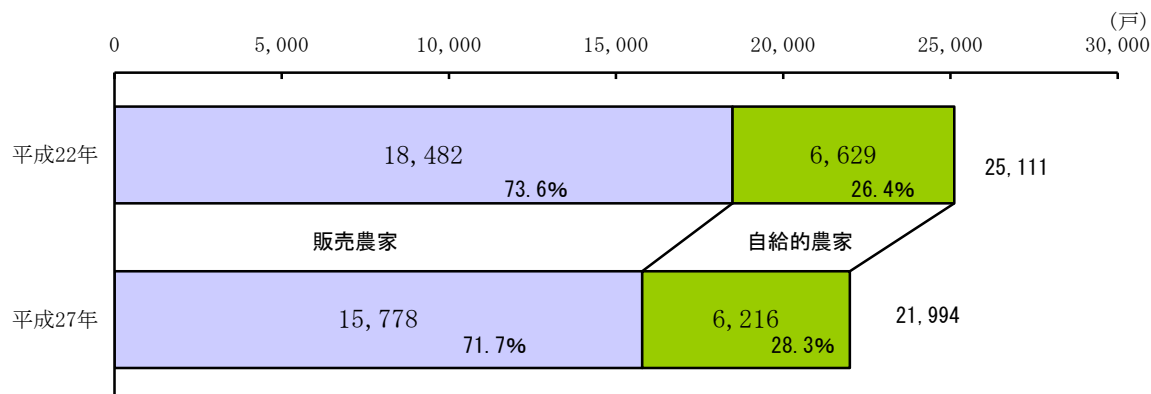


### 3 農家

～農家数は 21,994 戸に、3,117 戸 (12.4%) の減少～

総農家数のうち、販売農家数は、15,778 戸、自給的農家数は、6,216 戸となり、5 年前に比べてそれぞれ 2,704 戸 (14.6%)、413 戸 (6.2%) 減少した。

図6 農家数



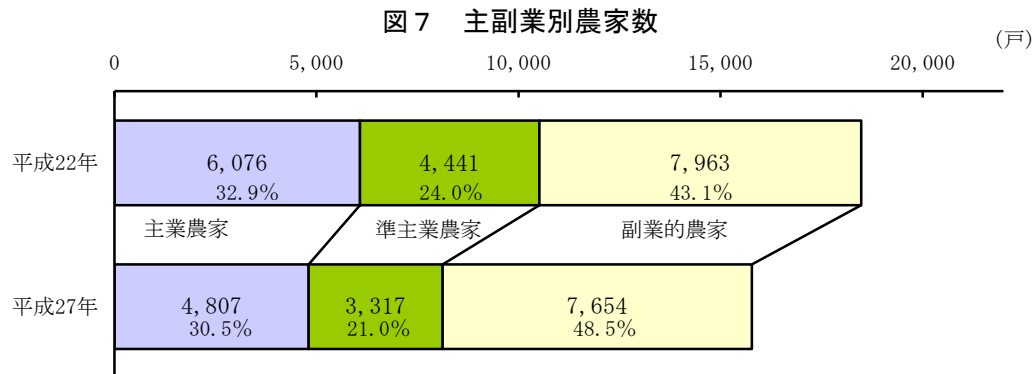
## 4 販売農家

### (1) 主副業別農家数

～主業農家及び準主業農家は、8,124戸（構成比51.5%）に 2,393戸の減少～

販売農家を主副業別に見ると、5年前に比べ、主業農家は4,807戸で1,269戸（20.9%）減少し、準主業農家は3,317戸で1,124戸（25.3%）減少した。

一方、副業的農家は7,654戸で、5年前に比べ、309戸減少したが、構成比は48.5%となり、5.4%増加した。

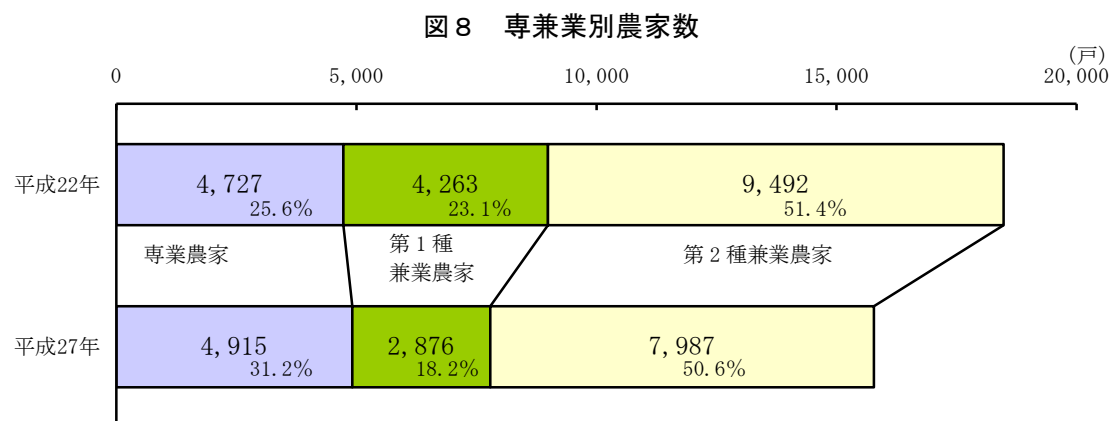


### (2) 専兼業別農家数

～専業農家は、4,159戸（構成比31.2%）に 188戸の増加～

販売農家を専兼業別にみると、専業農家は4,915戸で5年前に比べ188戸（4.0%）増加した。

一方、第1種兼業農家は2,876戸で5年前に比べ1,387戸（32.5%）、第2種兼業農家は7,987戸で5年前に比べ1,505戸（15.9%）、それぞれ減少した。



### (3) 農業就業人口

～農業就業人口は26,164人に7,663人(22.7%)の減少。65歳以上は全体の57.6%～

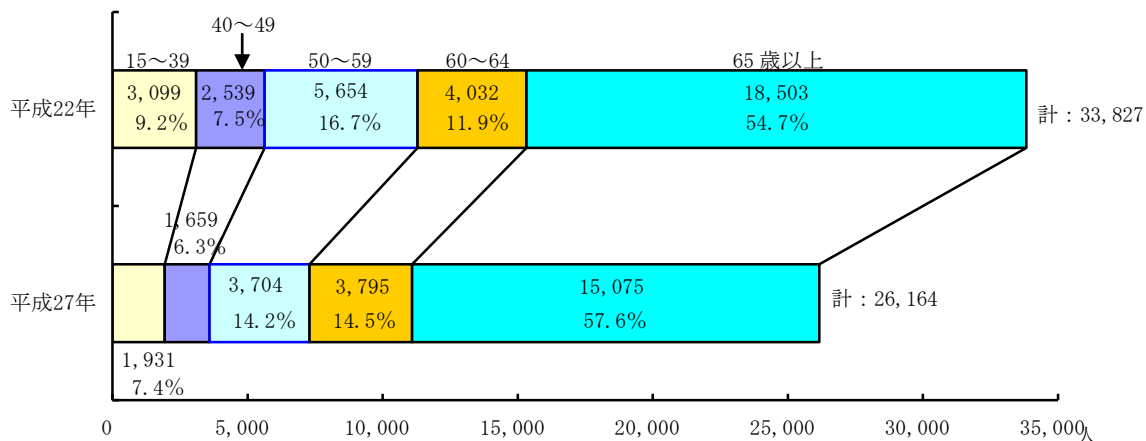
販売農家の農業就業人口は26,164人で5年前に比べ7,663人(22.7%)減少した。

また、農業就業人口の平均年齢は64.9歳となった。

年齢層別に見ると、15～39歳は1,931人で1,168人(37.7%)、40～49歳は1,659人で880人(34.7%)、50～59歳は3,704人で1,950人(34.5%)それぞれ減少した。

一方、60～64歳は3,795人で237人(5.9%)、65歳以上は15,075人で3,428人(18.5%)と減少したが、構成比は14.5%、57.6%となり2.6%、2.9%それぞれ増加した。

図9 農業就業人口の推移

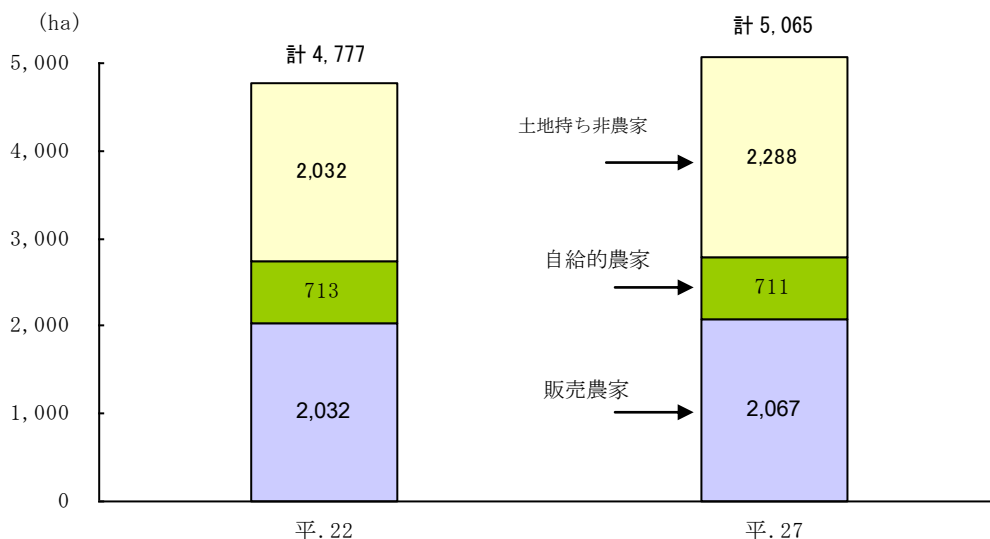


### 5 耕作放棄地面積

～耕作放棄地面積は5,065haに288ha(6.0%)の増加～

販売農家が2,067ha、自給的農家が711ha、土地持ち非農家が2,288haで、販売農家は35ha(1.7%)、土地持ち非農家は256ha(12.6%)、それぞれ増加し、自給的農家は2ha(0.3%)減少した。

図10 耕作放棄地面積



## 6 林業経営体

### 保有山林面積規模別経営体数

#### ～3ha 以上 10ha 未満の林業経営体が全体の 75.2%～

林業経営体は 1,251 経営体となり、5 年前に比べて 1,040 経営体(45.4%)減少した。保有山林面積規模別の構成割合で見ると、3～5ha 層は 529 経営体、(構成比は 42.3%)、次に 5～10ha 層は 412 経営体 (同 32.9%) と 3～10ha 層で全体の 75.2%を占めた。

図 1 1 保有山林面積規模別林業経営体

